

## 2021 第1回「ミニ観察会」実施概要

有峰森林文化村 霜鳥主任指導員

令和3年7月24日（土）に第1回目の「ミニ観察会」を開催しました。参加者は有峰ハウス宿泊の6名（11歳～61歳）。開催場所は、猪根平有峰ハウス前駐車場（北東側）にて実施しました。灯火採集準備の為、17:00より白布固定枠（自作）を組立て、白布を広げて大型の洗濯バサミで固定、白布の前に写真用三脚に予め固定した誘蛾灯（100v200Wの水銀灯×2、電源は有峰VCより）を設置しました。そして19:00ライトオン、灯火採集の開始。

19:30ミニ観察会を開始 まずは灯火採集法についての説明。灯火採集は、蛾や甲虫など、多くの昆虫は夜間に活動する習性を利用し、夜間の灯火、つまり光源に群がる甲虫や蛾を捕虫アミや手づかみ、毒ビンで採集する方法。別名ライトトラップとも呼ばれている旨など。電源のない場所では、発電機を持ち入り水銀灯や蛍光灯などの光源一式を点灯させることもあるなど。

21:00過ぎに雨が降り始めたため一旦終了。お天気状況によっては22時に再開の可能性も含めておりましたが、雨雲レーダーでは雲が22時頃まで停滞することが予想されたため再開しませんでした。今回の開催時間は、19:30～21:10でした。

・灯火採集は月明かりのない新月頃がベストとされていますが、開催の24日はちょうど満月でしたが幸いにも曇天で月が出なかったため、多くの昆虫類が飛来しました。この間に飛来した昆虫類のリストを表1に示しました。飛来した昆虫類については、準備した図鑑で同定、野帳に記載戴きました。同定が難しい昆虫類に関しては、霜鳥がアドバイスをを行いました。蛾類に加え、コガネムシなどの甲虫類も飛来しました。大型の蛾類オナガミズアオが飛来すると歓声が上がりました。ミニ観察会は1時間40分と短い時間帯でしたが、多くの昆虫類が飛来し、参加者もミニ観察会を楽しむ事ができたと思います。「ミニ観察会」を企画し、顧客満足の大切さを再確認しました。

反省点：急な雨天となったため、参加者にミニ観察会の終了を的確に情報提供出来なかったこと。一度に多くの昆虫類が飛来したため、種の同定に手間取り、参加者全員が情報を共有することが難しかったこと。

良かった点：短期間に同定が間に合わないほど多くの昆虫類が飛来し、ミニ観察会ができたこと。



灯火採集法について説明する霜鳥



飛来した昆虫類を同定中の参加者



飛来し同定した昆虫類を指さす参加者